

編集 後記

本稿を執筆している2021年11月現在、新型コロナウイルス感染症の患者数は低い水準を保っており、感染対策と社会活動とのバランスが模索されている最中です。公衆衛生活動においても、健康危機管理としての新型コロナウイルス感染症対策の重要性は疑う余地のない一方、感染の収束を待ってられない課題、また、感染拡大期であっても取り組みの継続が必要な課題もあります。これらにどのような姿勢で臨むかを考え続けておられる会員は多いと思われますが、本誌が紹介する多様な報告が、歩みを一歩前に進める助けになることもあるのではないのでしょうか。

今号に掲載される5編の論文は全て原著です。高齢者のうつ病予防、災害時の情報収集、子どもの受動喫煙防止についての3つの論文では、公衆衛生活動を展開するうえでの基礎的な情報となりうる知見が紹介されています。いずれも新型コロナウイルス感染症の出現前に実施された研究ですが、検討されている課題の重要性は、現在も変わっていません。次に、自治体の施策計画策定における住民との協働について、保健師の要因に着目して検討した論文では、保健師の専門性や役割についての新たな視点が示されています。新型コロナウイルス感染症の影響についての論文も掲載されており、高校生における定期的歯科受診の状況、さらには、口腔状態の変化が報告されています。

編集委員会では、論文種ごとの定義や構成の明確化を図るために投稿規定を改定し、第68巻第10号にその内容をお知らせしました。学会ホームページには、論文種別の選択の参考となるフローチャートを示しています。これらを参考に、様々な分野、立場、観点からの知見を投稿いただくことにより、本誌の誌面がより多彩となることを期待しています。

(定金敦子)

次号予告 (第69巻・第1号)

原著

- COVID-19流行下における食行動の変化、食物アクセスの課題、食情報のニーズ：世帯の経済状況別検討……………赤岩友紀，他
住民主体での活動を目指した介護予防事業終了後の介護予防活動への参加に関連する要因の検討……………西田和正，他
高齢者の機能的健康度の評価に基づく要介護発生活リスク予測モデルおよびリスクチャート（試作版）の開発……………野藤 悠，他
地域在住高齢者の最長職と現在の就労状況および就労理由との関連に関する研究……………杉浦圭子，他

資料

- 生活保護受給者への健康管理支援事業に対する福祉事務所の期待と課題認識：福祉事務所への質問紙およびヒアリング調査結果より……………上野恵子，他
徳島県在住高齢ドライバーにおける運転免許証自主返納後の活動性の変化と運動機能、認知・精神機能の追跡調査……………平島賢一，他